

保存版

津波

ハザードマップ



令和8年4月



Itoisawa UNESCO Global Geopark

糸魚川ユネスコ
世界ジオパーク

東西文化・国石ヒスイ・日本列島の成り立ち



あな



糸魚川市

はじめに

平成29年11月15日、新潟県から新たな津波浸水想定が公表されたことから、この度、この想定に基づく津波ハザードマップを作成し、配布する運びとなりました。

作成にあたって、沿岸各地区の皆さまからご意見をいただき、議論を重ねてきました。

ご家族、自主防災組織などで、季節や発災時刻等も考慮したうえで、いざというときの避難に備えご活用ください。

もくじ

●表紙	……表紙
●はじめに・もくじ	…… 1
●想定する津波	…… 2
●沿岸代表地点における津波水位	…… 2
●公表された浸水面積、影響開始時間	…… 2
●津波について	…… 3～4
●避難対応	…… 4
●索引図	…… 5～10
●各地区津波避難経路図	
▪市振地区	……11～12
▪歌外波地区	……13～14
▪青海地区	……15～16
▪田沢地区	……17～18
▪糸魚川地区	……19～24
▪大和川地区	……25～26
▪浦本地区	……27～28
▪木浦地区	……29～30
▪能生地区	……31～32
▪小泊、磯部地区	……33～34
▪磯部地区	……35～36
●津波時の指定緊急避難場所	……37～38
●情報入手方法	……39
●非常持出袋・避難生活では	……40
●困ったときは（連絡先等）	……41

このハザードマップは新潟県で公表した「基準水位（せり上がり浸水深）」数値データを使用し津波浸水想定区域を表示しました。以下、この数値を「津波浸水想定」とします。

想定する津波

想定する津波は②の水色で示す断層(上越・糸魚川沖)のずれにより発生する地震による津波を想定しています。

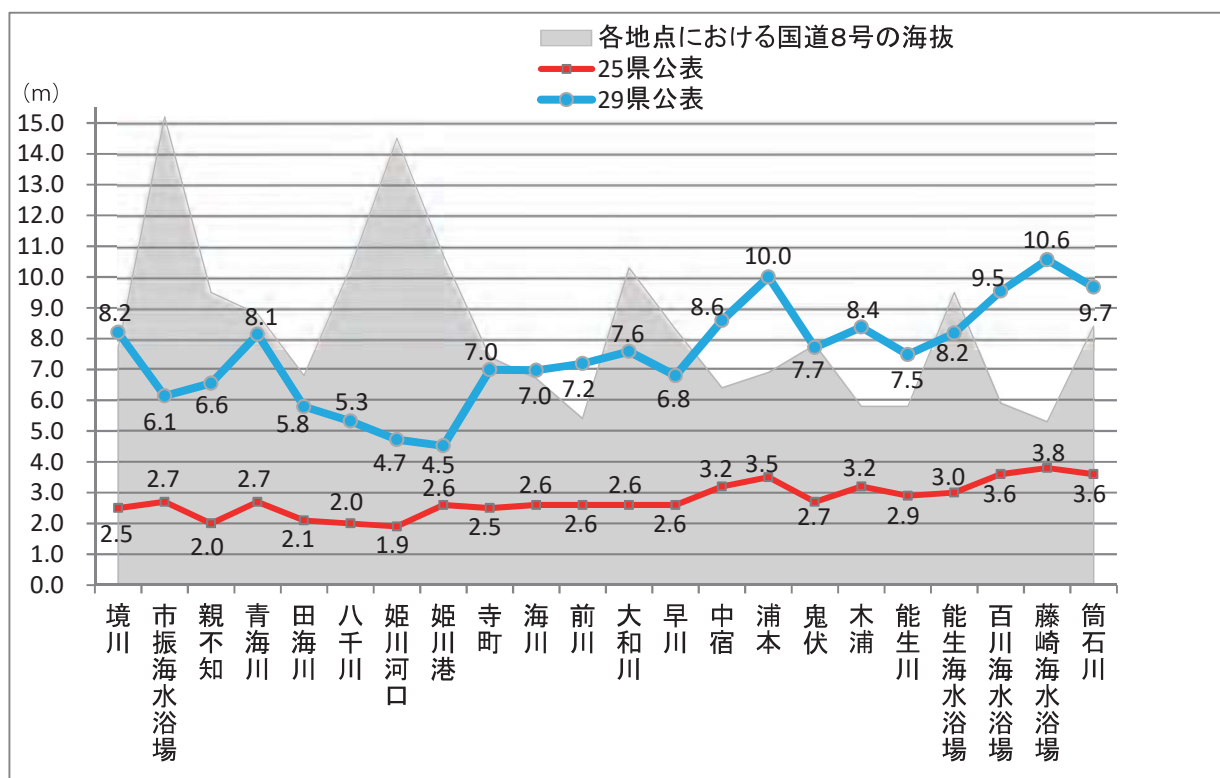
津波レベルは、最大クラスの津波(発生頻度はきわめて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波)を想定しています。

今回想定した断層が海岸線に近いこと、また、海岸線に平行して走っていることから、平成25年に新潟県が独自の津波断層に基づき公表した①の赤色で示す津波断層のずれにより発生する地震による津波より水位・浸水想定区域ともに数値が大きくなっています。

また、地震発生後、最も早い場合、5分以内で津波の影響(±20 cmの水位の変化)が



沿岸代表地点における津波水位



公表された浸水面積、影響開始時間

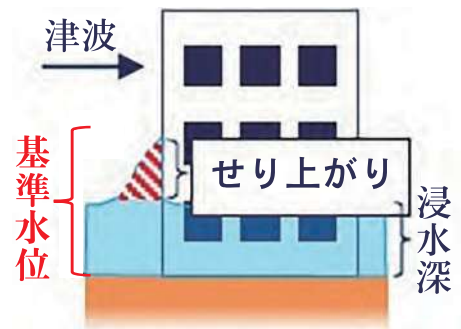
糸魚川市	H29公表値	H25公表値
浸水面積	467ha (浸水深 1 cm以上)	107ha (浸水深20cm以上)
影響開始時間	5分以内	5分以内

津波について

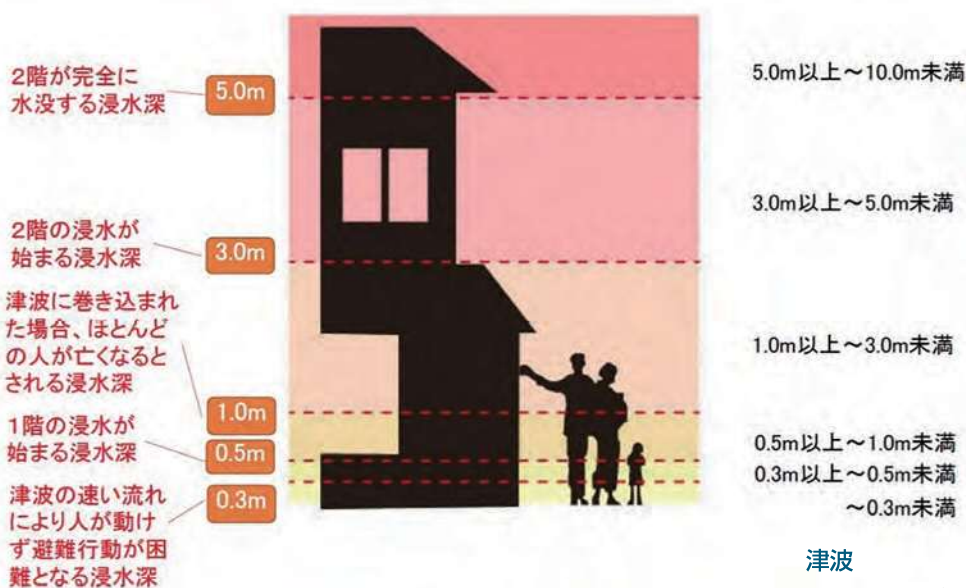
津波の「せり上がり（せき上げ）」

津波が地域に浸入した際に建物等に衝突し、想定水位（浸水深）に比べ「より高くより威力をもって、襲いかかる」ことが知られています。これを「津波のせり上がり（せき上げ）」といいます。

*各地区データ（P11～P36）は、この基準水位（せり上がり浸水深）で表示。



津波の最大浸水深目安



恐るべき津波の破壊力

津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までの全ての海水が巨大な水のかたまりとなって沿岸に押し寄せ、その破壊力はすさまじいものとなります。

また、引き波も長時間にわたり引き続けるため家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。

津波の危険性

津波は、繰り返しやってきます。必ずしも第1波が最大とは限りません。津波注意報や津波警報が解除されるまで注意しましょう。

津波が高くなってくると、それに連れて海水全体の動きも大きくなり、高さ 20cm ～ 30cm 程度の津波でも人は速い流れに巻き込まれてしまう恐れがあり、大変危険です。

気象庁は 20cm 以上の津波が予想された場合は津波注意報を発表します。津波注意報が発表されたら速やかに海岸や河川から離れてください。



津波警報等の分類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波 警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波 警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波 注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	表記しない	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

避難対応

●一刻も早くなるべく高所に避難！

- ・テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話等で情報を入手しましょう。
- ・大きな地震（立ってられないほどの揺れ）が発生したら、まずは海岸や河川から離れましょう。
- ・避難は各地区のハザードマップの避難先を目標に避難しましょう。
- ・河口や港湾は周囲の波が集まり、予想以上に波が押し寄せる可能性があるので注意しましょう。
- ・時間がない場合は、津波避難ビル、鉄筋コンクリート建物の3階以上に逃げましょう。
- ・さらに余裕がない場合は、建物の2階以上に逃げましょう。
- ・隣近所とも協力して避難しましょう。
- ・津波の危険性がなくなっても自宅が被災し、帰ることができない場合は、指定避難所等に移動してください。
- ・避難所の開設時は、防災行政無線、安心メール等でお知らせします。

